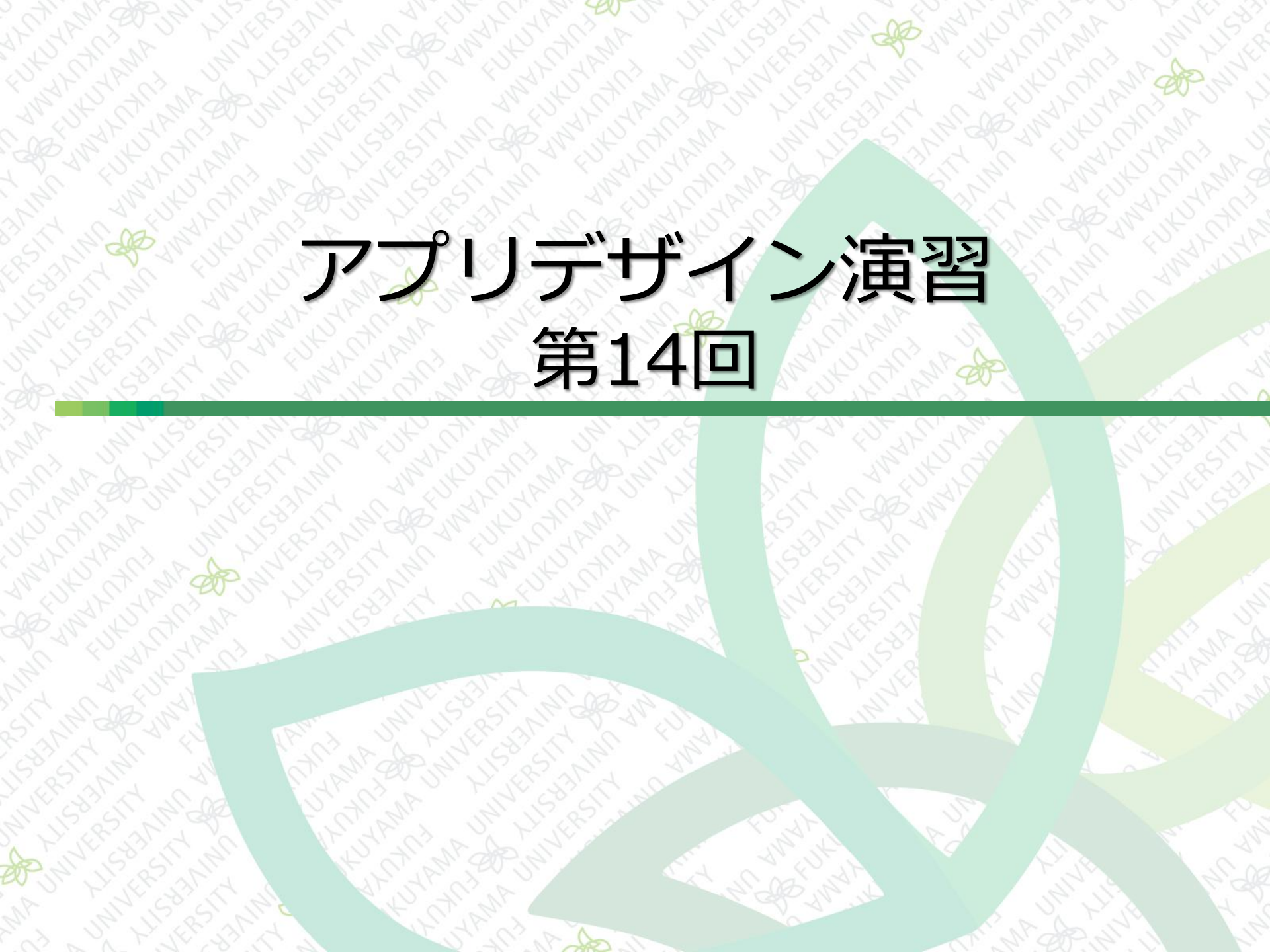


アプリデザイン演習

第14回



チームでアプリ作成

- ・チームでアプリを作成する

第12回 アプリの考案・企画

第13回 開発（1）

今回
ここ → 第14回 開発（2）

第15回 開発（3）および成果発表

第14回

■ 開発作業の記録を簡単に残すこと

- ~の処理の部分を追加した
- ~の画像を作成した(できれば画像を貼る)
- ~を作ってみたが失敗した
- ~のバグで長時間悩んでいた
- など

■ 毎週、授業終了時に作業記録を提出すること (Wordファイル)

- 作業内容を他人に伝えることも大切

第14回

■ 開発作業の記録を簡単に残すこと

時刻	名前	作業内容
13:40	中下	得点計算のプログラムを追加した
13:45	井上	表示のエラーを調査して解決した
		⋮

第14回

■ 提出先

- Cerezoのアプリデザイン演習

- レポート, 第14回のところ

■ グループ内の誰か 1 人が提出すればよい

- グループ全員の名前の記入を忘れずに

■ ファイル名の付け方

- グループ 2 なら group2.docx

- グループ 5 なら group5.docx

第15回、制作物の発表 について

- ・最後の回（第15回）に制作したアプリの発表をする

- パワーポイントを使って簡単に発表する

- 持ち時間は3～5分程度

- 質疑応答あり

- 評価の基準

- ◆ アプリの内容（難易度、面白さ、工夫など）

- ◆ アプリ開発の完成度

- ◆ 設計図の評価

- ◆ プレゼンの評価

- パワーポイントのファイルは提出する

第15回、制作物の発表 について

■ 評価は

- ◆ 発表 50%、提出したスライド 50%

■ アプリ本体の提出はしなくてよい

- ◆ 場合によっては、アプリを提出してもらうこともある

- ・ 次のスライドからは発表資料の作成例です。

アプリデザイン演習制作発表

「出席管理システム」

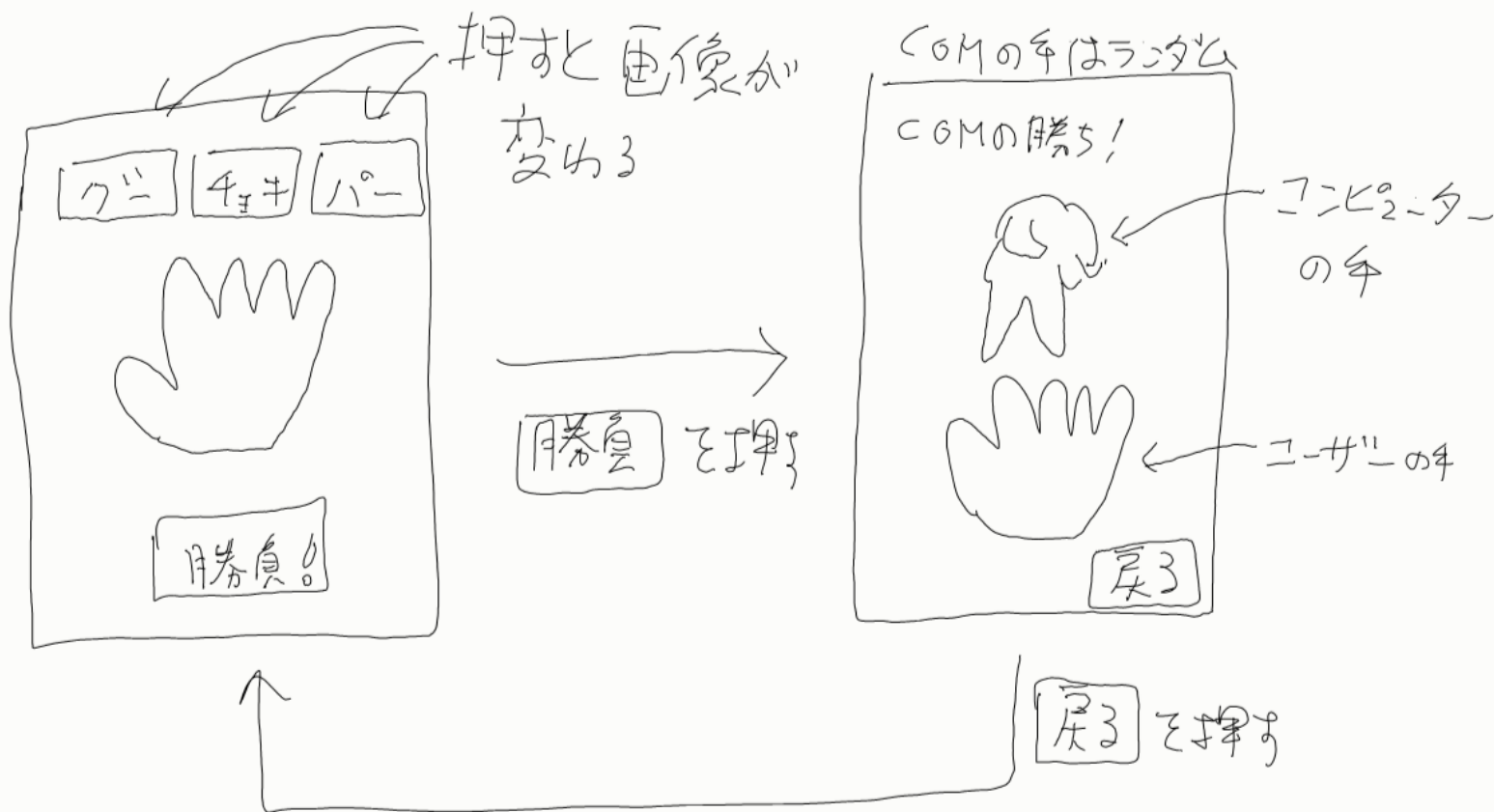
情報工学科 5412099 福山太郎

アプリの概要

- 学生がiPadを用いて出席を登録する
- 即時に集計・確認することができる
- 出席登録時に顔写真を撮影する
- 出席の集計結果をcsvに出力可能

学生が各々にiPadを手にとり出席の登録操作を行います。出席登録を完了すると、顔画像の写真ファイルが保存され、それと同時に 学籍番号 (ID)、氏名、出席登録日時、講義名が記録されます。

アプリの設計図

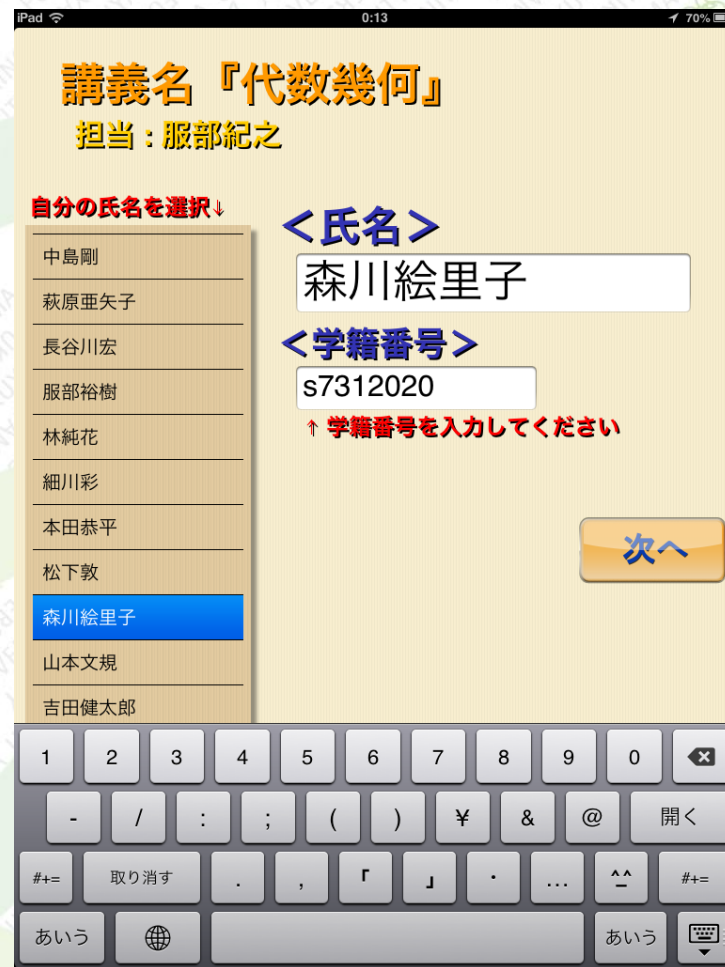


(注)ダミーでじゃんけんの設計図を載せています

アプリのスクリーンショット（１）



最初の画面



出席登録時

アプリのスクリーンショット（2）

iPad 0:20 69%

出席管理 代数幾何 操作...

学籍番号	氏名	1回	2回	3回	4回	5回
s7312001	阿部真治	X	X	X	X	X
s7312002	岡本綾菜	X	X	X	X	X
s7312003	奥村英子	X	X	X	X	X
s7312004	河野純	X	X	X	X	X
s7312005	小谷英治	X	X	X	X	X
s7312006	斉藤利香	X	X	X	X	X
s7312007	佐々木みゆき	X	X	X	X	X
s7312008	鈴木太郎	X	X	X	X	X
s7312009	田中洋一	X	X	X	X	X
s7312010	谷上優香	X	X	X	X	X
s7312011	寺口亮一	X	X	X	X	X
s7312012	中島剛	X	X	X	X	X
s7312013	萩原亜矢子	X	X	X	X	X
s7312014	長谷川宏	X	X	X	X	X
s7312015	服部裕樹	X	X	X	X	X
s7312016	林純花	X	X	X	X	X
s7312017	細川彩	X	X	X	X	X
s7312018	本田恭平	X	X	X	X	X
s7312019	松下敦	X	X	X	X	X
s7312020	森川絵里子	X	X	X	X	X
s7312021	山本文規	X	X	X	X	X
s7312022	吉田健太郎	X	X	X	X	X
s7312023	渡辺正良	X	X	X	X	X

履修者数： 23 0 0 0 0 0

出席状況の確認



写真の確認画面

まとめ

- 開発の達成度 ・ ・ ・ 90%

- 難しかったところ

 - 写真撮影で顔認識の実装が難しかった

 - データ管理の処理が難しかった

- 今後の課題

 - 操作をもっと簡単にする

 - 処理速度を速くする

(注)開発の達成度、難しかったところ、今後の課題は必ず書いてください